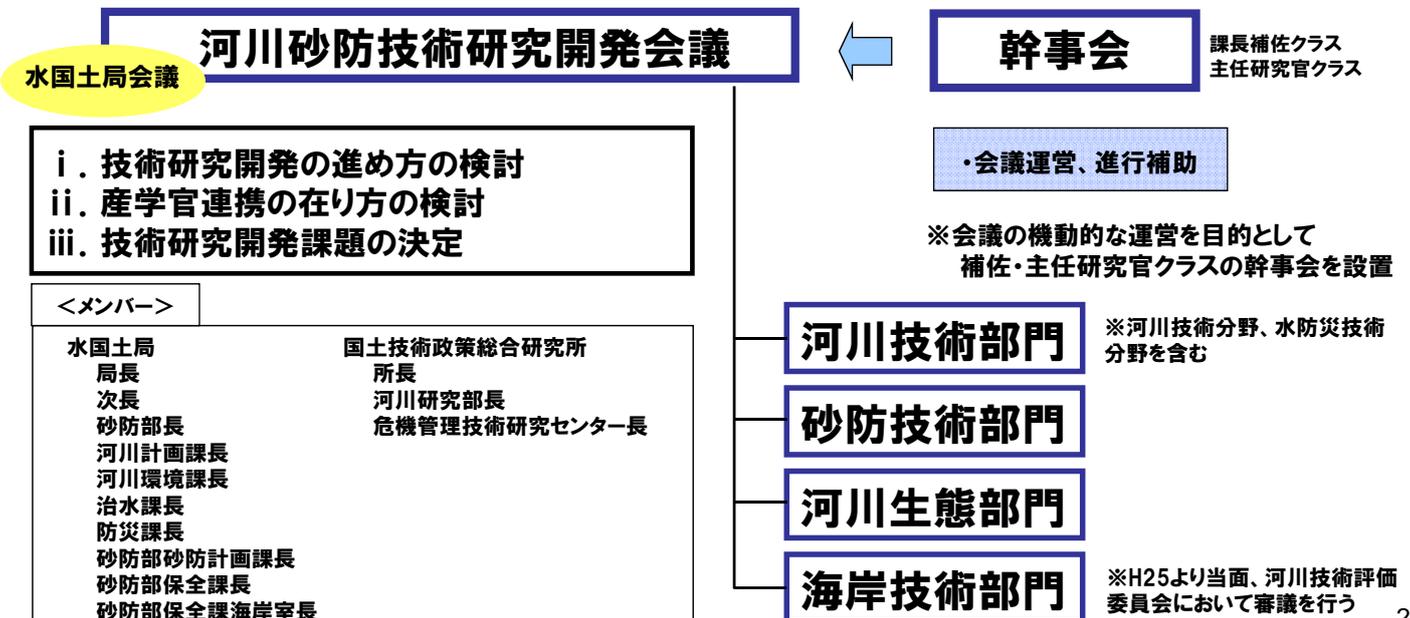


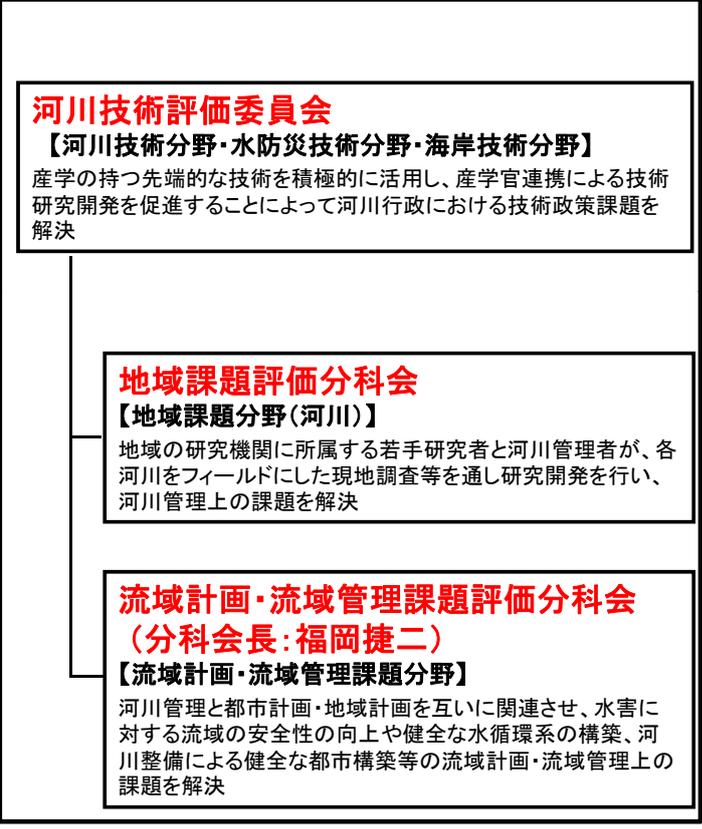
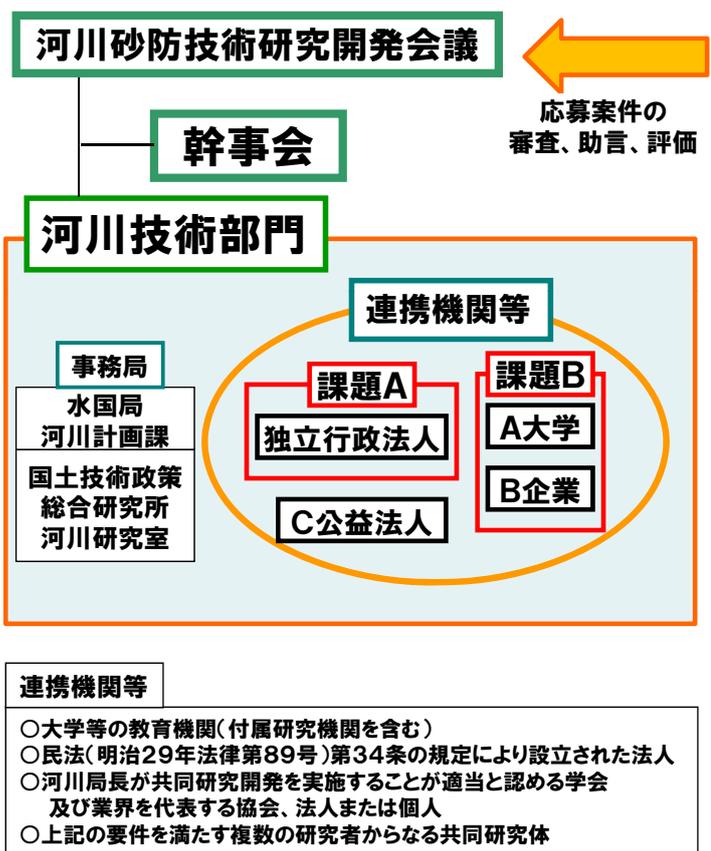
# 河川砂防技術研究開発制度について

## 河川砂防技術研究開発制度について

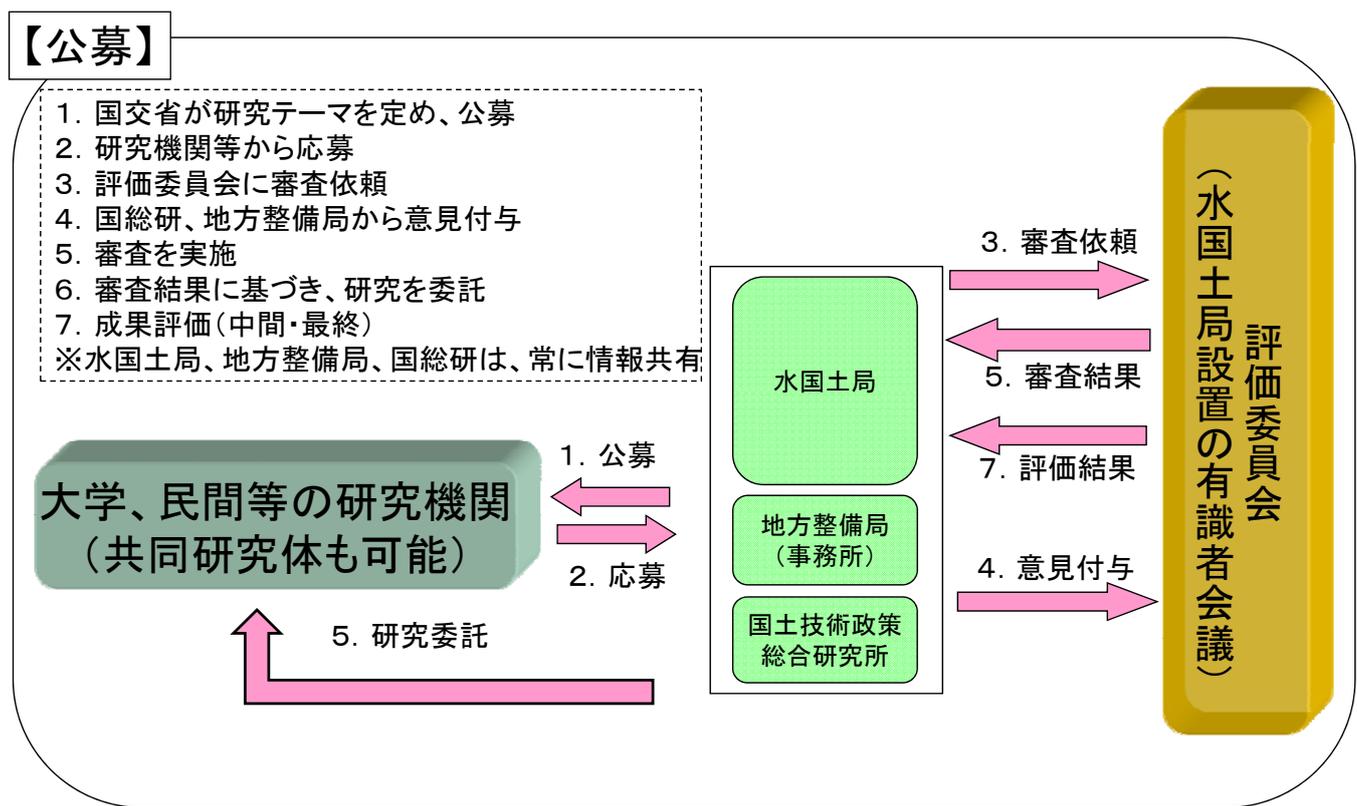
- 河川砂防技術開発制度の目的  
産学の持つ先端的な技術を積極的に活用し、産学連携による技術研究開発を促進するため河川砂防技術研究開発制度を設ける。
- 河川砂防技術研究開発会議の設置  
産学官連携による技術開発を推進するために、水国土局内に河川砂防技術研究開発会議を設置。



# 産学官連携による技術研究開発の実施体制の構築



# 河川砂防技術研究開発公募のスキーム



## 河川砂防技術研究開発 これまでの研究実績について

平成21年度の制度創設から平成25年度までの研究実績  
河川部門（河川技術、水防災技術、地域課題（河川）、流域計画・流域管理課題）

応募件数	163件
採択件数	60件
現在進行中の研究	11件

これまでの流域計画・流域管理課題分野における採択テーマ

年度	研究テーマ名	所属機関	研究代表者
平成22年	氾濫域におけるPPPによる流域管理及び地域計画の融合に関する研究	(社)日本プロジェクト産業協議会	石田 有三
	河川整備基本方針・河川整備計画と都市計画基礎調査・都市計画マスタープランの相互連携策の検討	日本大学	大沢 昌玄
平成23年	水害ハザード情報の都市計画系の計画への反映状況の実態把握と都市計画的手法による市街地が抱えるリスクの低減可能性の分析	東京大学	加藤 孝明
平成24年	関係主体間の境界領域における対応の遺漏に着目した洪水ハザードマップの活用状況と住民の防災・減災意識形成の実態分析	広島大学	塚井 誠人

5

## 河川砂防技術研究開発公募（河川技術部門：流域計画・流域管理課題分野）

### （流域計画・流域管理課題分野 公募課題）

国土交通省が管理する河川を中心とした流域に関して、河川管理と都市計画・地域計画を互いに関連させ、水害に対する流域の安全性の向上や健全な水・物質循環系の構築、河川整備やまちづくり政策を組み合わせた健全な都市の構築等、流域計画・流域管理上の技術課題や政策課題を対象としたもの。

※今年度から、上記に加えて具体的なテーマ例も示す

# 河川砂防技術研究開発制度 ホームページについて

詳しくは河川砂防技術研究開発制度 ホームページまで

- 過去の研究成果について
- 公募の状況について

水管理・国土保全局 河川砂防技術研究開発制度 ホームページ

<http://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/kenkyu.html>



7

# 平成26年度 公募スケジュール等(予定)

平成26年 1月7日	公募開始
2月4日	公募〆切
2月～3月	書面審査
4月	平成26年度採択テーマ決定、公表
4月～5月	委託研究契約手続き
5月～	委託契約による技術研究開発の実施
平成27年以降	
3月	中間評価（ヒアリング） （次年度に継続して応募する場合）
4月	事後評価（研究が完了した場合）

流域計画・流域管理課題分野	
公募課題	（流域管理方策と地域計画の連携のあり方に関する課題） 【ボトムアップ型】
公募案件の審査・評価	流域計画・流域管理課題評価分科会 （分科会会長：福岡捷二）
審査手順	書面審査
年次、費用	最長3年 合計500万円まで（1年も可）
委託契約	地方整備局（事務所）との委託契約

8